

わかもの
こども若者★いけんぷらす
いけんひろば

いばしょ
～こども・若者の居場所づくりの取組について、
どんな伝え方をすれば良いと思いますか？～
しりょう
フィードバック資料

令和6年9月10日（火）～9月23日（月）アンケート開催^{かいさい}

令和6年9月11日（水）オンライン開催

2024年度「こども若者★いけんぷらす」事業

- かいさいがいよう 開催概要
- はんえい みなさんの意見の反映について
- ないよう 内容
 - 1. かいせつ 解説動画について
 - 2. チラシ・パンフレットについて
 - 3. 出来上がった動画について
 - 4. 今回取り入れられなかった意見について
 - 5. いばしよししん 「こどもの居場所指針」の解説書について

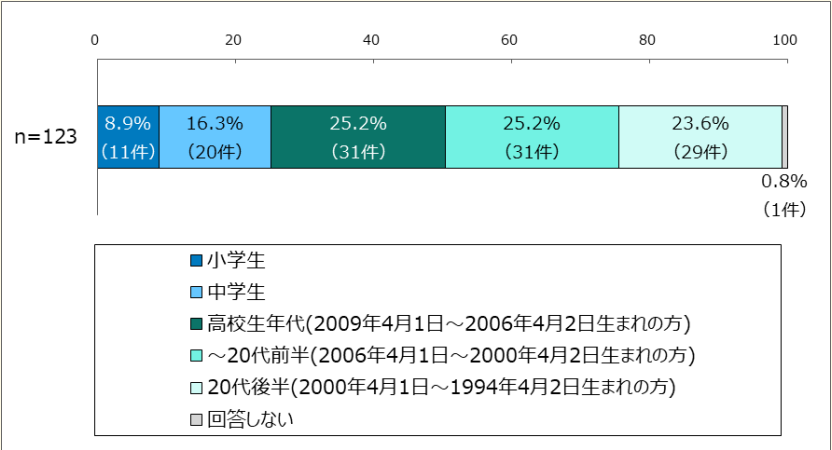


いけんひろば開催概要

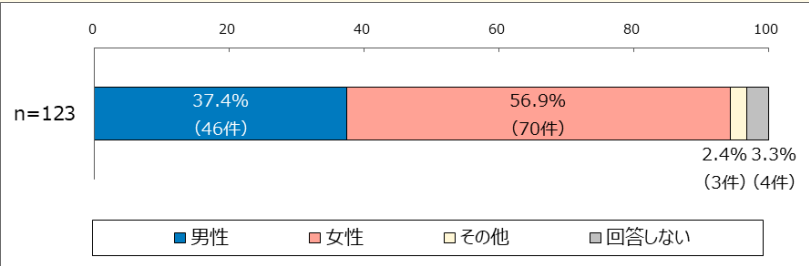
テーマ	わかもの い ば し ょ こども・若者の居場所づくりの取組について、どんな伝え方をすれば良いと思いますか？
担当省庁	こども家庭庁
テーマ説明	令和5年12月に「こどもの居場所づくりに関する指針」ができ、国全体でこども・若者の居場所づくりを進めていくことが決まりました。この指針では、こども・若者が居場所と感じる場所が居場所であり、どんな場所が居場所になり得るかは、こども・若者の声をよく聞いて考えていくこととされています。指針の内容をこども・若者のみなさんにも知ってもらいたいと、動画・パンフレットを作っています。どんな見せ方だとわかりやすいか、アイデアを聞かせてください。
参加対象者	「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、小学5年生以上の方

オンライン		アンケート	
開催日時	令和6年9月11日（水）19:00～21:00	開催日時	令和6年9月10日（火）～9月23日（月）
参加者	○1班 小学生4名 ○2班 高校生世代※1 4名 ※1 2009年4月1日～2006年4月2日生まれの方 ○3班 20代前半※2 5名 ※2 2006年4月1日～2000年4月2日生まれの方 ○4班 20代後半※3 5名 ※3 2000年4月1日～1994年4月2日生まれの方	参加者	回答数：123件

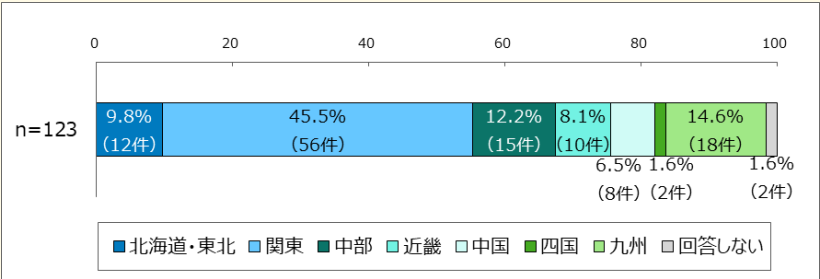
年代



性別



お住まいの地域



みなさんのいけんの反映について

こどもまんなか
こども家庭庁



こども家庭庁では、多くのひとにこどもの居場所づくりの取組をしってもらうために、チラシや動画を作成しました。

また、「こどもの居場所づくりに関する指針」をより分かりやすく説明する解説書も作成しました。

いただいた意見をどのように取り入れたか、どのように活用しているか

次のページからご紹介します！>>>



1. 解説動画について

完成した解説動画（SNS広告用）をご紹介します！



				キャラ	ここは公民館 どんなことをしているのかな		キャラ	「居場所づくりの主人公はみんな！」 ってことだよ！ みんなが「居たい」「行きたい」 「やってみたい」と思うことが大事なんだ！
	キャラ	やあ、ぼくイバシヨン！ こどもの居場所について説明するよ (ポンという効果音) ※効果音は全体に次の工程でつけます。		女子C 男子B	大人にロボットの作り方を 教えてもらったよ ケーキをつくってみんなで 友達と食べたよ		キャラ	だから、こんな居場所がほしい、 反対にこんな場所は嫌だ、 こんなことをやってみたい、 そんなみんなの声が居場所づくり には必要なんだ！だから君たちの声 をおどなに伝えてみてほしいんだ！
	キャラ	「居たい」「行きたい」「やってみたい」 こどもの居場所づくり		キャラ	その他にも何もしなくても 良い場所だったり		キャラ	今、いろんな人がこども・若者の 居場所づくりに取り組んでいるよ！
	女子A キャラ	こども・若者の居場所ってなに？ こども・若者の居場所とは 「居たい」「行きたい」「やってみたい」 と思える場所であり、居場所か どうかは子ども・若者が決めるんだ		キャラ	SNSやお家でオンラインゲームで 遊んだり		キャラ	みんなの声をたくさん聴かせてね！
	キャラ	どんなところが居場所になっているか 街の中をのぞいてみよう！		キャラ	グラウンドでサッカーチームと プレイしたり		キャラ	詳しくは、こども家庭庁のHP や、そこに掲載されているパン フレットなどの資料を見てね！
	キャラ	ここは学校 教室で学んだり、校庭で遊んだり 多くの子どもにとっては学校も 居場所になるよね		キャラ	こども・若者の視点でその場所にいる ことが幸せで、その居場所にいる人たち と関わるのが楽しくて、居心地のいい 場所と思えるのが居場所なんだ			
	男子A 女子B	僕は放課後、友達と話している 時間が好き 私は図書館で本を読むのが好き		男子C キャラ	でも僕はもっと違うことがやりたいなあ... そんな時どうしたら良いの？イバシヨン？ そういうこともあるよね、そんな時に 覚えておいてほしいのは、			



1. 解説動画について

かいせつ

はんえい
反映したところ ⇒ 赤色の文字

こどもまんなか
こども家庭庁

完成した動画



こども・若者の居場所ってなに?

こども・若者の居場所とは
「居たい」「行きたい」「やってみたい」
と思える場所であり、居場所か
どうかは子ども・若者が決めるんだ

A

ぷらすメンバーからの 意見

わかもの いばしよ
「こども・若者の居場所とは、こども・若者の主観によって決まる」という内容があったが、小学生低学年に伝わるか疑問。

A

「主観によって決まる」 → 「こども・若者が決めるんだ」に変更しました。



B



ここは公民館

どんなことをしているのかな

公民館についてどのような場所かもう少し詳しく説明したほうがよい。

B

こどもが様々なことに取り組める場としてイメージできるように活動の説明を加えました。



1. 解説動画について

かいせつ

はんえい
反映したところ ⇒ 赤色の文字

こどもまんなか
こども家庭庁

完成した動画



A

だから、こんな居場所がほしい、
反対にこんな場所は嫌だ、
こんなことをやってみたい、
そんなみんなの声が居場所づくりには必要なんだ！だから君たちの声をおとなに伝えてみてほしいんだ！



ぷらすメンバーからの意見

声を上げる方法として^{だれ}誰に相談すればよ
いかわからない。

A

「君たちの声を大人に伝えてほしいん
^{へんこう}だ」に変更しました。

こどもには、もうちょっと^{時間}時間が短い動画
のほうがよい。

短い動画として、^{けいはつ}啓発動画（30秒）を
^{えつらん}作成し、ショート動画として閲覧できるよ
うにしました。

BGMなどを付けたほうがよい。

^{こうか}BGMや効果音をつけました。



2-1. チラシについて（1枚もの）

しょうかい チラシのご紹介をします！



「居たい」「行きたい」「やってみたい」
こどもの居場所づくり

詳しくは、
こちらから！

こどもと一緒に、誰もが笑顔でいられる社会へ
「こどもの居場所づくり」におけるおとなの存在は、
単なる脇役にとどまるものではありません。
こども・若者とともに、誰もが笑顔で
いられる地域・まちをつくっていきましょう！

啓発・解説動画
パンフレット（HP）
<https://www.cfa.go.jp/policies/ibasha/kohoshiryo>

イバシオン
こどもの居場所に
あられる妖精

こどもまんなか
こども家庭庁

おもて

こどもの居場所づくりとは

こども・若者の「居たい」「行きたい」「やってみたい」
場をつくること

「居たい」

- 誰かとつながることができること
- 安全・安心な場であること など

「行きたい」

- 行くきっかけがあること
- 自分を受け入れてくれる
- 誰かがいること など

「やってみたい」

- 自分の意見を言える、聴いてもらえること
- あこがれを抱ける人がいること など

居場所と
思える
場・関係性

居場所
づくりで
目指すもの

ギャップ

こども・若者が居場所と思う場と、おとなをはじめとする第三者がつくろうとする場の間には、ギャップが生じます。このギャップをどう埋めるかが、こどもの居場所づくりの取り組みでは大切です。

こどもの居場所づくりの4つの視点

ふやす つなぐ
ふりかえる みがく

すべてのこども・若者が居場所を見つけることができる社会の実現のためには、【ふやす】【つなぐ】【みがく】【ふりかえる】の4つの視点を踏まえた取り組みを地域社会で推進し、多くの居場所がある環境にしていく必要があります。

こどもの居場所をつくるために

こども・若者は全ての思いを言葉で表現するわけではありません。
胸の内の想いを受け止め、読み解いていく、おとなとの関係性づくりが大切です。



うら

2-1. チラシについて（1枚もの）

はんえい
反映したところ ⇒ 赤色の文字

こどもまんなか
こども家庭庁

（おもて面）

完成したチラシ



ぷらすメンバーからの
意見

チラシに反映したところ

文字が詰まっているイメージがあるので、
表面はマップ、イラストのみにした方が、
見た瞬間のイメージが伝わりやすい。

イラストを大きくし、こどもと大人との関
係性をつくっていくことの大切さを表現
しました。文字を少なくしました。

「推進中」ということばがあったが、どれ
くらいのこどもが理解できるか疑問にお
もった。

「推進中」という言葉を使わず、こどもも
大人も一緒に居場所づくりに取り組むイ
メージを出しました。



2-1. チラシについて（1枚もの）

はんえい
反映したところ ⇒ 赤色の文字

こどもまんなか
こども家庭庁

（うら面）

完成したチラシ

ぷらすメンバーからの
意見

チラシに反映したところ

こどもの居場所づくりとは

こども・若者の「居たい」「行きたい」「やってみたい」
場をつくること

「居たい」

- 誰かとつながることができること
- 安全・安心な場であること など

「行きたい」

- 行ききかけがあること
- 自分を受け入れてくれる
- 誰かがいること など

「やってみたい」

- 自分の意見を言える、聴いてもらえること
- あこがれを抱ける人がいること など

A



こども・若者が居場所と思う場と、おとなをはじめとする第三者がつくろうとする場の間には、ギャップが生じます。このギャップをどう埋めるかが、こどもの居場所づくりの取り組みでは大切です。

こどもの居場所づくりの4つの視点



すべてのこども・若者が居場所を見つけることができる社会の実現のためには、【ふやす】【つなぐ】【みかく】【ふりかえる】の4つの視点を踏まえた取り組みを地域社会で推進し、多くの居場所がある環境にしていく必要があります。

B

こどもの居場所をつくるために

こども・若者は全ての思いを言葉で表現するわけではありません。
胸の内の想いを受け止め、読み解いていく、おとなとの関係性づくりが大切です。



ふんいき

チラシから固い雰囲気があるので、目を引くようなインパクトがあったほうがよい。

A

イラストを大きくし、ポイントをまとめて作成しました。

文字が多いと読まない。パッと見たとき
きょうみ
に興味をそそられるようなものにするとうい。

B

ポイントを3点にしぼって作成しました。
うら面でも、大人とこどもの関係性が大切であることを示しています。



2-2. パンフレットについて

はんえい
反映したところ ⇒ 赤色の文字

こどもまんなか
こども家庭庁

完成したパンフレット

ぷらすメンバーからの 意見

パンフレットに 反映したところ

5

居場所づくりの具体例

居場所づくりの分類

居場所づくりの取り組みは、こども・若者への関わり方によって、以下の2つに大きく区分できます。

ユニバーサル・アプローチ

すべてのこども・若者を対象として交流の機会などを設ける

ターゲット・アプローチ

個別のニーズを抱えるこども・若者へのきめ細やかな対応を行う

ユニバーサル	混在型	ターゲット
児童館、公民館、図書館、公園、子ども会、校庭、プレーパーク など	フリースペース、こども食堂、校内カフェ、学習・生活支援の場 など	放課後等デイサービス、若者シェルター、児童育成支援拠点事業 など



どの居場所でもこども・若者が思い思いに過ごしています。のんびり過ごす場も大切です。

キャンプなど、一緒に様々な体験をすることが、仲間との関係性を居場所にしていきます。



夜の居場所がないという声など、こども・若者が抱える様々な課題に直面することも。

※ 写真は、「こどもの居場所づくり支援体制強化事業」をご活用いただいた自治体の報告書から抜粋しています。

いばしょ
どんな居場所をつくっているかを最も伝えたいと思うので、**例を強調してページを割いてもよい**と思う。

いくつか例になる居場所の写真を入れたほうがよい。

居場所づくりの具体的な活動を写真を
しょうかい
入れて紹介するようにいたしました。



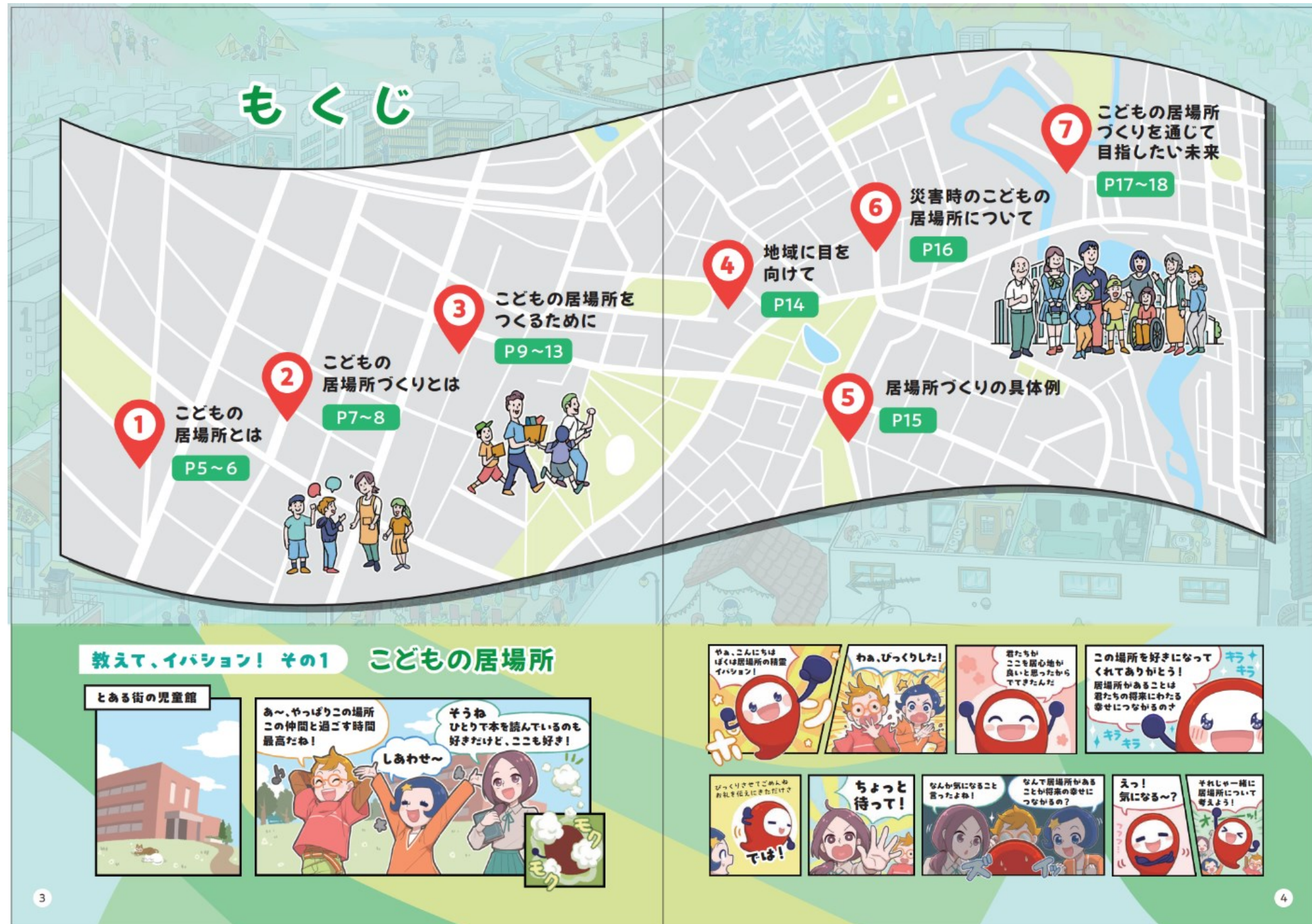
2-2. パンフレットについて

はんえい
反映したところ ⇒ 赤色の文字

こどもまんなか
こども家庭庁



いけんひろばで出た、みなさんの意見をパンフレットに掲載けいさいしました。



もくじを、ロードマップ化して、こどもにも分かりやすくなるよう作成しました。

3. 出来上がった動画について



こども向け30秒動画

けいたい たてばん
携帯等でも配信できるよう、縦版のショート動
画（こども向け）を作成しました。今後、けいはつ
動画からホームページにつながり、身近な居場所
じょうほう つな いばしょ
情報に繋がるように工夫していきます。



おとな向け60秒動画

3. 出来上がった動画について

詳しくは、こちらから！

【こども向け】啓発動画



【おとな向け】啓発動画



【こども向け】解説動画



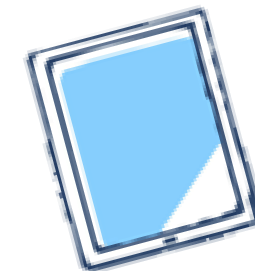
【おとな向け】解説動画



【自治体・実践者向け】解説動画



こどもまんなか
こども家庭庁



4. 今回取り入れられなかった意見について

かいせつ 解説動画



- 学校が居場所でないことも多いので、動画を観ても傷つくことがないようにしてほしい
⇒学校については指針にも明記されている場所であり、全く触れないわけにはいきませんでした。学校がみなさんにとって、どのような場所であるべきか、今後も皆さんの意見をもらいながら考えていきたいと思います。
- 具体的な居場所の名前や連絡先、住所などもう少し情報を入れてほしい
⇒具体的な居場所の連絡先等^のを載せることは、動画の時間やパンフレットのページ数の関係で難しく、載せることはできませんでした。ただ、こども家庭庁のホームページに移動するための二次元コードを入れておきましたので、今後ホームページ上で具体的な居場所について情報発信できるようにしていくことを考えています。

チラシ・パンフレット

- オンライン空間をもうちょっと大きくしたり分かりやすくしたほうがよい。
⇒デザイン自体が大きく変わったため、オンライン空間に限らず具体的な居場所について載せるところがなくなりました。パンフレットについては、中である程度説明をしています。
- 表紙タイトルの人間の色分けをし「居たい」「行きたい」「やってみたい」と色を合わせたほうがよい。
⇒表紙のデザインを変更したので、キャラクターと文字の配色については反映できませんでした。

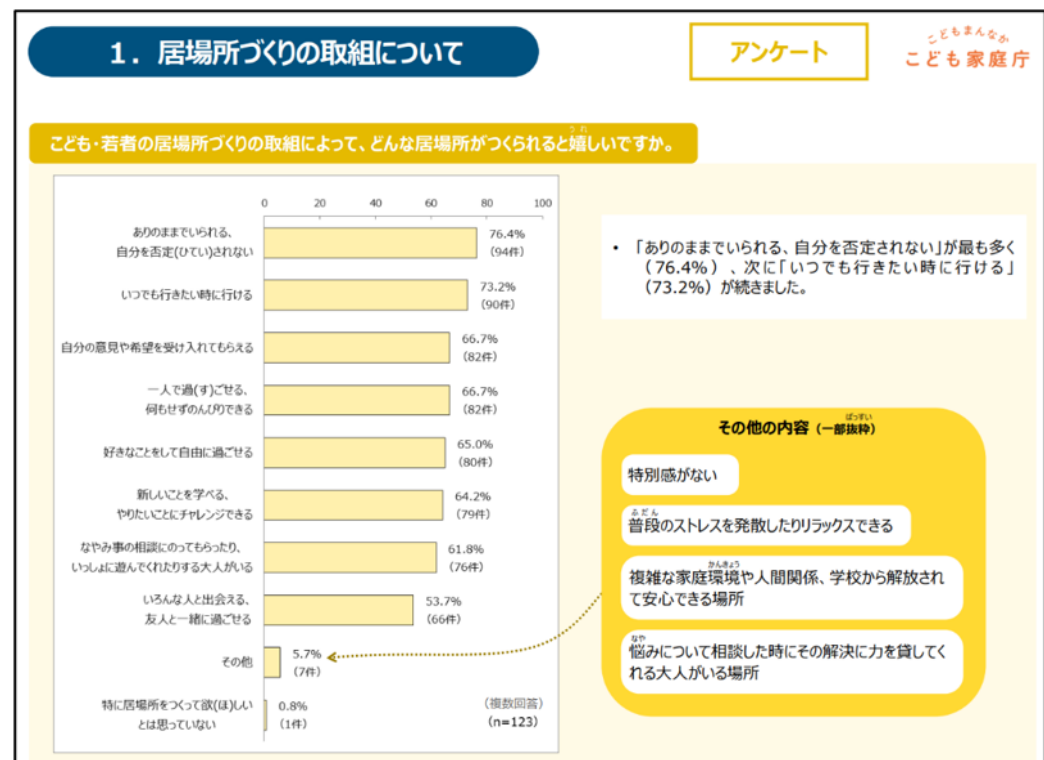


5. 「こどもの居場所指針」の解説書について

わかもの
こども・若者の居場所づくりには、地方自治体の職員やすでに活動している実践者の人たちだけでなく、こども・若者自身を含めて多くの人たちに関わっていただきたいと思います。そのため、こどもたちがどのような居場所を求めているのかも、ちいき
地域の方々に知っていただきたいと思います。「こどもの居場所づくりに関する指針」の解説書でこのいけんひろばの報告資料を引用する等、こどもたちがどのような居場所を求めているかを広く知ってもらうための発信の場で、みな
皆さんからいただいた意見を活用しています。

【参考情報：居場所づくりの取組にこども・若者が求めること】←

こども・若者自身に「どんな居場所がつけられると嬉しいですか」と複数回答で尋ねたところ、「ありのままでいられる、自分を否定されない」という回答が最も多く、「いつでも行きたい時に行ける」「自分の意見や希望を受け入れてもらえる」などが続きます。多くのこども・若者にとって、自分がありのまま受け入れられているという感覚が重要であることがうかがえます。←



(出典) いけんひろば「こども・若者の居場所づくりの取組について、どんな伝え方をすれば良いと思いますか？」(2024年9月開催) 報告資料より抜粋←

多くの意見をいただき、ありがとうございました！

